

令和4年度 第2回定例記者会見（説明内容）

【市議会定例会日程】〔資料1 ページ〕

9月議会定例会は、8月30日（火）午後1時に招集します。
会期は、8月30日から9月27日までの29日間の予定です。

【定例会提案議案】〔資料2～3 ページ〕

定例会に提出する案件は、補正予算案件が7件、条例案件が2件、契約案件が1件、一部事務組合協議案件が1件、決算の認定案件が12件の計23件です。

報告案件として、令和3年度に終了した継続費の精算報告など、報告6件となります。

【令和4年9月補正予算案】〔資料4～5 ページ〕

一般会計補正予算（第3号）は、11億3,756万1千円を追加し、補正後の総額を、371億441万3千円とするものです。

特別会計は5会計の補正で、合計3億1,274万8千円を追加し、補正後の総額を196億8,284万8千円とするものです。

なお、一般会計と特別会計の当補正額の合計は、14億5,030万9千円となっています。

公営企業会計では、水道事業で、収益的支出に299万5千円を追加し、補正後の総額を、43億7,483万3千円とするものです。

債務負担行為の補正については、一般会計において、生活困窮者等自立支援業務委託、放課後児童クラブ・山田児童館運営業務委託及び、被保護者健康管理支援業務委託を、新たに設定するものです。

継続費補正については、一般会計において、令和3年度に実施したデジタル化更新工事実施設計結果により、現在の計画周波数帯からより電波の強い周波数帯に変更するため、防災行政無線更新事業の総額、年度及び年割額を変更するものであります。

【令和4年9月補正予算案の概要】

「1. 減債基金への積立」には、後年度以降の地方債償還ピークに備え、令和3年度決算剰余金を活用し、10億円を追加しました。

「2. 自治体情報システム標準化・共通化」には、国の自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）計画に基づき、第一弾として、行政手続きに係る庁内情報システムの一部について、その標準化に必要なシステム改修委託料759万円を計上しました。

「3. 公的介護施設等整備費」には、防災面の改修及び新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、市内介護保険施設2箇所に対する補助金など1,115万円を計上しました。

「4. 保育所新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」には、公立保育所の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、二酸化炭素測定器や抗原検査キットなどの購入費 390 万円を計上しました。

「5. 放課後児童クラブ施設整備事業」には、待機児童の解消を図るため、小見川西児童クラブの改修費 300 万円を計上しました。

「6. 米政策改革事業」には、生産者に対する国・県からの対象交付金などの減額状況等を踏まえ、飼料用米出荷奨励金 1,200 万円を追加しました。

「7. 農業振興事業」には、香取のふるさとまつり事業補助金に、新型コロナウイルス感染症防止対策経費分の補助額を追加し、また、これまでの措置を拡充する観点による国・県制度の変更等を踏まえ、独立・自営する就農者を支援するため、経営開始資金補助金を新設するなど、合わせて 691 万 4 千円を計上しました。

「8. 商業活性化支援事業」には、いずれも申請希望者が増えたことに伴い、空き店舗対策事業補助金 767 万 4 千円と、賑わい再生支援事業補助金 163 万円を追加しました。

「9. 道路橋りょう費」には、道路維持事業に 1 億 811 万円、道路新設改良事業に 2,800 万円、市道 I - 23 号線道路改良事業に 830 万円を追加したほか、市道 II - 32 号線外道路改良事業 882 万 8 千円を計上しました。

「10. パークゴルフ場利用促進事業」は、令和 4 年 10 月に供用開始となる橘ふれあい公園パークゴルフ場において、運営開始当初の利用促進を図るため、市民大会の開催及び市民割引デー等の事業展開に要する経費 268 万 5 千円を計上しました。

「11. 街なみ環境整備事業」には、国補助金の交付決定等を踏まえ、小野川右岸市道美装化工事など 7,569 万 3 千円を追加しました。この工事は、年度内に完成が見込めないため、繰越明許費を設定しております。

「12. 幼稚園新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」には、公立幼稚園の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、備品購入費 50 万円を計上しました。

【令和3年度 決算の概要】

〔別冊：決算に係る参考資料及び主要施策の成果の説明書 2～7ページ〕

一般会計の決算については、予算現額 401 億 5,300 万円に対し、歳入決算額が 396 億 7,500 万円、歳出決算額が 365 億 2,100 万円で、歳入歳出差引額が 31 億 5,400 万円となります。そのうち、翌年度の繰越事業に充てる財源 3 億 4,000 万円を控除した実質収支額は、28 億 1,400 万円の黒字という状況です。

実質収支額のうち 9 億円は、令和 4 年度に繰り越さず、財政調整基金に積み立てています。

歳入決算額は、前年度より 41 億 2,400 万円の減となっており、主な要因は、国庫支出金の特別定額給付金給付事業費補助金 74 億 8,000 万円が令和 2 年度限りであったためです。

歳出決算額も歳入と同様、前年度より 41 億 8,300 万円の減となっており、その主な要因も、総務費の特別定額給付金事業で、75 億 700 万円の減が影響しております。

【担当課説明】

- ・「国際交流員（C I R）の任用」（総務課・商工観光課）
- ・「橘ふれあい公園パークゴルフ場の供用開始」（都市整備課）
- ・「伊能忠敬記念館 令和 4 年度企画展『渾天地球の妙を描く』を開催」
(伊能忠敬記念館)
- ・「第 14 回香取小江戸マラソン大会を 3 年ぶりに開催」（生涯学習課）

【参考資料】

主な行事予定（9 月～11 月）

【その他】

かけわ株式会社は、農業を切り口に地域課題の解決に取り組む会社として、同社代表の高木俊雄氏が明治大学および昭和女子大で准教授を務めていることからゼミ生等の学生を主なメンバーとして設立されました。

販売店である「Brewery&Cheese 伊能忠次郎商店」は、香取市佐原の小野川沿い、重要伝統的建造物群保存地区内において遊休物件となっていた「伊能忠次郎商店」を改修し、“香取の食”の魅力発信拠点として新たに生まれ変わらせたものです。

今回は、Brewery&Cheese 伊能忠次郎商店で提供される中で、香取市産のホップを使用したクラフトビール、香取市内で生産された生乳を使用したチーズ、香取市産にこだわった商品を紹介しました。